



2025年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年12月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社稲葉製作所

コード番号 3421 URL <https://www.inaba-ss.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲葉 裕次郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 武田 浩 TEL 03-3759-5181

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年7月期第1四半期の連結業績（2024年8月1日～2024年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年7月期第1四半期	9,997	△4.1	334	△43.4	416	△39.1	270	△41.0
2024年7月期第1四半期	10,423	5.4	592	△24.3	683	△20.9	458	△20.5

(注) 包括利益 2025年7月期第1四半期 224百万円 (△48.3%) 2024年7月期第1四半期 433百万円 (△24.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年7月期第1四半期	16.78	-
2024年7月期第1四半期	27.79	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年7月期第1四半期	58,785	43,452	73.9	2,697.95
2024年7月期	60,542	43,570	72.0	2,705.24

(参考) 自己資本 2025年7月期第1四半期 43,452百万円 2024年7月期 43,570百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年7月期	-	16.00	-	21.00	37.00
2025年7月期	-	-	-	-	-
2025年7月期(予想)	-	21.00	-	21.00	42.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年7月期の連結業績予想（2024年8月1日～2025年7月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,030	4.9	1,340	△1.7	1,520	△1.6	1,030	△9.4	63.95
通期	44,290	4.4	3,240	5.7	3,600	5.8	2,450	0.3	152.12

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年7月期1Q	17,022,429株	2024年7月期	17,022,429株
② 期末自己株式数	2025年7月期1Q	916,636株	2024年7月期	916,636株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年7月期1Q	16,105,793株	2024年7月期1Q	16,486,093株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	増減率 (%)
売上高	10,423	9,997	△4.1
営業利益	592	334	△43.4
経常利益	683	416	△39.1
親会社株主に帰属する四半期純利益	458	270	△41.0

当第1四半期連結累計期間の国内経済は、景気は緩やかな回復傾向にあるものの、ウクライナ・中東情勢を巡るリスクの継続や中国経済の停滞、エネルギー・原材料価格の上昇、物価高のなかで足踏みが続いている個人消費など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

鋼製物置市場においては、住宅着工が資材価格の高騰や人的資源不足などの要因から不安定な状況が続き需要が減少するなか、物価の高止まりに伴い個人消費が振るわなかった影響などもあり、市況は弱含んでおります。オフィス家具市場においては、新しい働き方に対応したオフィスの移転需要やリニューアル需要などが増え、堅調な市況が継続しております。また、当第1四半期連結累計期間においては、鋼材等の材料価格は前年同期の水準を上回って推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高9,997百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益334百万円（前年同期比43.4%減）、経常利益416百万円（前年同期比39.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益270百万円（前年同期比41.0%減）となりました。

当社グループは、売上高、営業利益の拡大を目指してまいりましたが、出荷数減少の影響に加え、材料費、減価償却費及び電力・燃料費等の増加により、前年同期に比べ売上高、営業利益ともに減少いたしました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	売上高 (百万円)			セグメント利益又は損失 (△) (百万円)		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
鋼製物置	7,309	7,059	△249	925	628	△296
オフィス家具	3,114	2,937	△176	△38	△40	△1
調整額	—	—	—	△294	△253	41
合計	10,423	9,997	△425	592	334	△257

（鋼製物置事業）

売上高は7,059百万円（前年同期比3.4%減）、セグメント利益は628百万円（前年同期比32.0%減）となりました。売上高は、出荷減の影響を受け、前年同期に比べ249百万円減少いたしました。セグメント利益は、労務費・減価償却費など加工費の増加により売上総利益が減少したことから、前年同期に比べ296百万円減少いたしました。

（オフィス家具事業）

売上高は2,937百万円（前年同期比5.7%減）、セグメント損失は40百万円（前年同期は38百万円の損失）となりました。売上高は、競争激化等によりオフィス移転・リニューアル案件の獲得が停滞し、前年同期に比べ176百万円減少いたしました。セグメント損益は、減収により売上総利益が減少したことから、前年同期に比べ損失額が1百万円増加いたしました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

	前連結会計年度末 (百万円)	当第1四半期連結会計期間末 (百万円)	増減(百万円)
流動資産	31,519	30,256	△1,263
固定資産	29,023	28,529	△493
資産合計	60,542	58,785	△1,756
流動負債	14,156	12,761	△1,394
固定負債	2,816	2,571	△244
負債合計	16,972	15,333	△1,639
純資産	43,570	43,452	△117

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,263百万円減少して30,256百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金の減少601百万円、受取手形及び売掛金の減少593百万円であります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ493百万円減少して28,529百万円となりました。主な変動要因は、減価償却費の発生による有形固定資産の減少334百万円、投資その他の資産のその他に含まれる投資有価証券の減少244百万円であります。

この結果、資産合計は58,785百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,756百万円減少いたしました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,394百万円減少して12,761百万円となりました。主な変動要因は、支払手形及び買掛金の減少921百万円、未払法人税等の減少362百万円であります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ244百万円減少して2,571百万円となりました。主な変動要因は、固定負債のその他に含まれる長期未払金の減少259百万円であります。

この結果、負債合計は15,333百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,639百万円減少いたしました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ117百万円減少して43,452百万円となりました。主な変動要因は、配当金支払による利益剰余金の減少341百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加270百万円であります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.9ポイント増加して73.9%、1株当たり純資産は2,697円95銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年7月期の連結業績予想については、2024年9月13日に公表いたしました数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,803,103	13,201,879
受取手形及び売掛金	6,928,151	6,334,235
電子記録債権	2,922,016	2,763,373
有価証券	3,499,750	3,500,040
商品及び製品	2,845,977	2,845,130
仕掛品	541,415	683,357
原材料及び貯蔵品	586,861	529,986
その他	392,198	398,322
貸倒引当金	△66	—
流動資産合計	31,519,407	30,256,326
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	7,365,409	7,508,857
機械装置及び運搬具 (純額)	4,737,808	4,530,836
土地	11,609,357	11,626,357
その他 (純額)	581,316	293,090
有形固定資産合計	24,293,892	23,959,142
無形固定資産	291,835	297,528
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	521,334	539,496
その他	3,916,319	3,733,449
投資その他の資産合計	4,437,654	4,272,945
固定資産合計	29,023,383	28,529,616
資産合計	60,542,790	58,785,943
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,448,179	2,526,344
電子記録債務	5,873,574	6,096,170
未払法人税等	560,752	198,192
賞与引当金	368,687	713,021
その他	3,905,022	3,227,934
流動負債合計	14,156,215	12,761,663
固定負債		
役員退職慰労引当金	17,666	19,191
役員株式給付引当金	164,308	179,701
退職給付に係る負債	1,164,231	1,160,578
その他	1,470,337	1,212,132
固定負債合計	2,816,543	2,571,604
負債合計	16,972,758	15,333,267

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,132,048	1,132,048
資本剰余金	763,500	763,500
利益剰余金	42,640,145	42,568,482
自己株式	△1,399,983	△1,399,983
株主資本合計	43,135,710	43,064,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	211,152	180,388
退職給付に係る調整累計額	223,168	208,238
その他の包括利益累計額合計	434,321	388,627
純資産合計	43,570,032	43,452,675
負債純資産合計	60,542,790	58,785,943

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)
売上高	10,423,273	9,997,517
売上原価	7,721,927	7,661,322
売上総利益	2,701,346	2,336,194
販売費及び一般管理費	2,109,217	2,001,218
営業利益	592,128	334,975
営業外収益		
受取利息	2,593	5,237
受取配当金	834	952
作業くず売却益	48,591	41,242
電力販売収益	25,529	22,874
雑収入	22,811	18,545
営業外収益合計	100,360	88,852
営業外費用		
支払利息	249	—
電力販売費用	7,144	7,056
雑損失	1,153	84
営業外費用合計	8,547	7,141
経常利益	683,941	416,687
特別利益		
固定資産売却益	2,276	502
投資有価証券売却益	6,194	—
保険解約返戻金	2,717	—
特別利益合計	11,188	502
特別損失		
固定資産除却損	5,609	854
特別損失合計	5,609	854
税金等調整前四半期純利益	689,520	416,335
法人税、住民税及び事業税	257,530	180,007
法人税等調整額	△26,091	△33,954
法人税等合計	231,439	146,053
四半期純利益	458,081	270,282
親会社株主に帰属する四半期純利益	458,081	270,282

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)
四半期純利益	458,081	270,282
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,932	△30,764
退職給付に係る調整額	△7,155	△14,929
その他の包括利益合計	△24,088	△45,693
四半期包括利益	433,992	224,588
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	433,992	224,588

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

また、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書き及び2022年改正適用指針第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)
減価償却費	418,574千円	482,101千円

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自2023年8月1日至2023年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼製物置	オフィス家具	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサービス	7,284,680	3,114,268	10,398,949	—	10,398,949
一定期間にわたり移転される財又はサービス	24,324	—	24,324	—	24,324
顧客との契約から生じる収益	7,309,005	3,114,268	10,423,273	—	10,423,273
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,309,005	3,114,268	10,423,273	—	10,423,273
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,309,005	3,114,268	10,423,273	—	10,423,273
セグメント利益又は損失(△)	925,183	△38,861	886,322	△294,193	592,128

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△294,193千円は、セグメント間取引消去32千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△294,226千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2024年8月1日至2024年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼製物置	オフィス家具	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサービス	7,040,960	2,937,597	9,978,558	—	9,978,558
一定期間にわたり移転される財又はサービス	18,959	—	18,959	—	18,959
外部顧客への売上高	7,059,919	2,937,597	9,997,517	—	9,997,517
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,059,919	2,937,597	9,997,517	—	9,997,517
セグメント利益又は損失(△)	628,704	△40,565	588,138	△253,162	334,975

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△253,162千円は、セグメント間取引消去39千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△253,202千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。